

# 米軍ヘリ墜落事故に対する大学の今後の対応の基本姿勢

2004年8月22日

8月30日修正

## 1. 大学機能の回復

### 大学の立場

静かで平和で安全な環境を保持することが大学の使命であり、事務機能、教学機能等の大学機能の回復は無論のこと、大学の使命である大学本来の環境の回復、整備に全力を尽くす。

### 対策

普天間基地を使用するすべての航空機の飛行中止要請。

普天間基地の即時撤去要請。

地位協定改善の要請

## 2. 補償

### 補償方針

人的、物的、精神的被害の補償だけでなく、大学のイメージダウン、事務機能、教育機能、研究機能の中断による損失等、大学に及ぼしたありとあらゆる被害の補償を求める。

### 対策

専従プロジェクトの確立。

防衛施設庁を中心とする政府への働きかけ。

## 3. 事故原因の究明と情報開示

### 事故原因究明の現状

日本側つまり県警の現場検証の前にヘリ残骸等の証拠物件が撤去されており、事故原因の究明が困難な状況にある。

### 対策

事故現場及び周辺地域の安全確認と確保。

県警の現場検証資料の大学への提供要請。

米軍の事故に関する情報の開示要請。